

主な話題

- p 02 第13回「ほしいも品評会」の村内受賞者を紹介します
p 03 「とうかい環境村民会議」による令和元年度の活動報告
p 12 春季全国火災予防運動「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」



3月14日(土)開催

講演会「“原発問題”を自分のこととして考えるとは？」

時間 午後1時30分～4時 (午後0時30分受け付け開始)

場所 東海文化センター

村では、日本原子力発電株式会社東海第二発電所問題に関して、「住民の意向把握」を課題の一つとしています。このたび、平成30年度に島根県松江市で開催された「自分ごと化会議 in 松江」の意義・成果等を学び、多くの方が、原発を“誰かが考える問題”ではなく“自分の問題”と捉え、関心を高めるための調査・研究の一環として、講演会を開催します。

● 講演会について

定員▼800人

内容▼▽第1部…講演 ①「全国で開かれる自分ごと化会議の意義について」講師…伊藤伸さん(政策シンクタンク構想日本 総括ディレクター) ②「自分ごと化会議 in 松江 の取り組み」講師…福嶋浩彦さん(自分ごと化会議 in 松江 実行委員会共同代表・中央学院大学教授)
▽第2部…パネルディスカッション パネリスト…山田村長、吉岡古都さん(自分ごと化会議 in 松江実行委員会広報担当・薬剤師)、福嶋浩彦さん

入場料▼無料

● 申し込み・問い合わせ

3月6日(金)(当日消印有効)までに、任意の様式に▽氏名▽住所▽電話番号▽年齢▽性別——を明記の上、郵送、メール、ファックスのいずれかで防災原子力安全課消防防災・原子力安全担当(〒319-1192 東海3-7-1 ☎282-1711 内線1523 ✉bousai@vill.tokai.ibaraki.jp FAX270-4418)へ申し込みください。※2月14日付けの新聞折り込みチラシを併せてご覧ください。

「自分ごと化会議 in 松江」とは

全国で唯一、県庁所在地に原子力発電所が立地する島根県松江市。「原発を自分のこととして考えられるようにしたい」という住民の思いから、平成30年11月から翌年2月にかけて、原発の肯定・否定や稼働の是非を問うということではなく、まちの課題を議論するという観点から、この取り組みが行われました。

この会議では、行政でも議会でもなく、選挙人名簿から無作為に選ばれた松江市民26人(島根大学の学生5人を含む)が議論を重ねました。そして、市民と地域、市・県・国、電力会社それぞれができることをまとめ、松江市長や島根県知事、経済産業大臣、中国電力株式会社等に提案書を手渡しました。

